

報道関係各位

MC デジタル・リアルティ株式会社

2024 年 5 月 9 日

MC デジタル・リアルティ、NRT キャンパス（千葉県 印西市）にて、 3 棟目となる NRT14 データセンター建設に本格着工

～2024 年 3 月開業の NRT12 に続く開発、NRT キャンパスは 100MW 級のキャンパスに拡張～

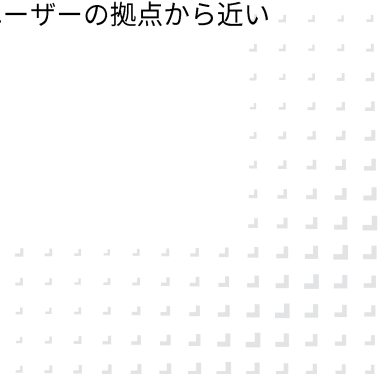
2024 年 5 月 9 日、東京発 - データセンター、コロケーション、相互接続ソリューションを日本国内にて展開する MC デジタル・リアルティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 畠山 孝成、以下：MC デジタル・リアルティ）は、2024 年 4 月に、千葉県印西市の NRT キャンパスにて、サーバー用電源容量最大 31MW の NRT14 データセンター（以下：NRT14）の建設に本格着工しました。開業およびサービス提供開始は 2025 年 12 月を予定しています。

NRT14 は、2024 年 3 月開業の NRT12 データセンター（以下：NRT12）に次ぐ、NRT キャンパス 3 棟目となるデータセンターで、首都圏における拡張性、柔軟性、AI インフラ対応のデータセンターへの需要増大を受け、追加開発を行うものです。NRT14 が完成すると、NRT キャンパスのサーバー用電源容量は、NRT10 データセンター（以下：NRT10）、NRT12 と合計で最大 104MW に拡大し、100MW 級の大規模データセンターキャンパスとなります。



NRT14 データセンター 外観イメージ

昨今、デジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組み拡大を受け AI、生成 AI、ビッグデータをはじめとしたデジタル技術のビジネス活用が本格化しています。特に昨年からは、データセキュリティを確保しつつ、企業や組織における AI の有効活用を実現する「[プライベート AI](#)」の導入を図る企業が増加しつつあります。こうした理由から、効率的な AI 開発・運用やデータ活用を可能にする、企業・ユーザーの拠点から近い首都圏近郊のデータセンター需要拡大が続いています。



富士キメラ総研のレポート^{*1}によると、GPU サーバー向けハウジング市場は、2028 年に、2023 年 (7,900kW) ^{*2} の 20 倍以上となる 184,800kW へ急速に拡大する見込みであり、高電力を要する GPU サーバーの安定運用を実現するファシリティと、ビジネス成長に呼応する柔軟性・拡張性を備えた次世代型のデータセンターは、今後更に需要が高まることが予想されます。

この度着工した NRT14 は、既存の [NRT10](#)、[NRT12](#) (ともに千葉県印西市) および [KIX13 データセンター](#) (大阪府箕面市) と同様に、GPU サーバーの安定稼働に最適な、堅牢かつ柔軟性の高いファシリティを提供するほか、ラックあたり最高 70kW の高密度コロケーションサービスならびに冷却技術「[Air-Assisted Liquid Cooling \(AALC\)](#)」に準拠した設計や、低レイテンシーで高速のネットワーク環境により、今後更なる増加が予想される大規模な AI ワークロードはもちろん、ハイパフォーマンス・コンピューティング (HPC)、機械学習、仮想・拡張現実の活用需要に対応する予定です。

NRT14 は、相互接続サービス「[キャンパスコネク](#)」により、NRT キャンパス内にあるデータセンターとシームレスに接続されるため、お客様は、データセンター間の距離を意識することなく、キャンパス全体のスケールを生かした柔軟なラック拡張が可能となります。

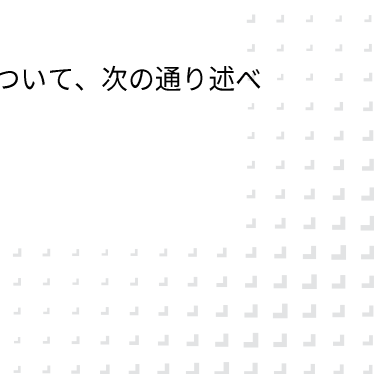
また、NRT14 では、NRT キャンパス内の他のデータセンター同様に、世界 6 大陸 25 カ国以上/50 都市以上/300 カ所以上のデータセンター拠点で、お客様、パートナーならびに 1100 のクラウド・IT サービス、1200 のネットワークサービス等から成る充実したデータコミュニティを提供するデジタル・リアルティのオープンでグローバルなデータセンタープラットフォーム「PlatformDIGITAL[®]」へのアクセスを提供し、ビジネスの革新と成長に欠かせないリアルタイムかつ効率的なデータ活用を支援します。

さらに、クラウド・ネットワーク・IT サービスやプライベート AI 等からなる広大なエコシステムへの高速・セキュアなアクセスを実現する相互接続ソリューション「ServiceFabric[™]」によって、様々なデータソースへの優れたアクセスと、ハイブリッド IT インフラや複雑な AI ワークロードの一元管理を実現します。

加えて、NRT14 では、環境負荷の低減を通じた持続可能な社会の実現とおお客様の IT インフラの脱炭素化を支援すべく、既存のデータセンターと同様、コロケーションサービス用データホールで使用する電力は実質 100%再生可能エネルギーとなる予定です。当社は今後も、環境負荷の低減に寄与する有効な取り組みを検討し、推進してまいります。

MC デジタル・リアルティは、「企業、テクノロジー、データの Meeting Place (出会いの場) を提供する」というミッションのもと、AI 対応のデータセンターインフラ環境や相互接続ソリューション「ServiceFabric[™]」等からなるデータセンタープラットフォーム「PlatformDIGITAL[®]」の提供を通じ、お客様の DX を支援します。

MC デジタル・リアルティ 代表取締役社長の畠山 孝成は今回のデータセンター着工について、次の通り述べております。



「NRT14 データセンターの着工をお知らせできますことを大変うれしく思います。NRT14 の竣工をもって、NRT キャンパスは合計最大 104MW に達し、100MW 級のデータセンターキャンパスとなる見込みです。AI や HPC、[メタバース](#)の活用基盤として既に多くのお客様にご活用いただいている NRT10 ならびに、2024 年 3 月に開業したばかりの NRT12 同様、NRT14 でも、堅牢かつ柔軟な AI 対応のデータセンター環境を提供することで、お客様のデジタルトランスフォーメーションやイノベーションを支援し、社会課題の解決に貢献する所存です。今後もさらなるキャンパス拡大に向け、計画的に開発を進めてまいります」

※1 出典：富士キメラ総研「データセンタービジネス市場調査総覧 2024 年版 市場編」

※2 2028 年の数値は予測数値、2023 年の数値は見込み数値

NRT14 データセンター概要

- 着工日：2024 年 4 月 1 日
- 開業日：2025 年 12 月（予定）
- 延床面積：22,800 m²（予定）
- サーバー用電源容量：31MW（予定最大値）
- 収容可能ラック数：約 2,800 ラック（予定）
- 建物構造：地上 6 階、免震構造

MC デジタル・リアルティについて

MC デジタル・リアルティ株式会社は、三菱商事と米国 Digital Realty による対等出資の合併会社として 2017 年 9 月に設立されました。日本にてコロケーションサービス、相互接続ソリューションを含めたデータセンターサービスを幅広く展開します。

三菱商事の不動産・インフラ投資の知見、顧客網と、業界大手 Digital Realty のデータセンタープラットフォーム「PlatformDIGITAL[®]」、世界 6 大陸にまたがる 300 以上のデータセンターコミュニティを活かした高品質な IT インフラの提供を通じ、お客様のビジネス拡大、イノベーション創出と社会の発展に貢献します。

MC デジタル・リアルティの詳細は <https://www.mc-digitalrealty.com/> をご覧いただくか、当社 [LinkedIn](#) をフォローしてください。

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

【本リリースに関する報道関係者からのお問合せ先について】

MC デジタル・リアルティ広報事務局

担当：山本（090-4224-3951）、富田（070-4303-7321）

Email：mc-digitalrealty-pr@kyodo-pr.co.jp

【製品・サービスに関するお問合せ先について】

MC デジタル・リアルティ株式会社 マーケティング

Email: marketing@mc-digitalrealty.com

Website: <https://www.mc-digitalrealty.com>

